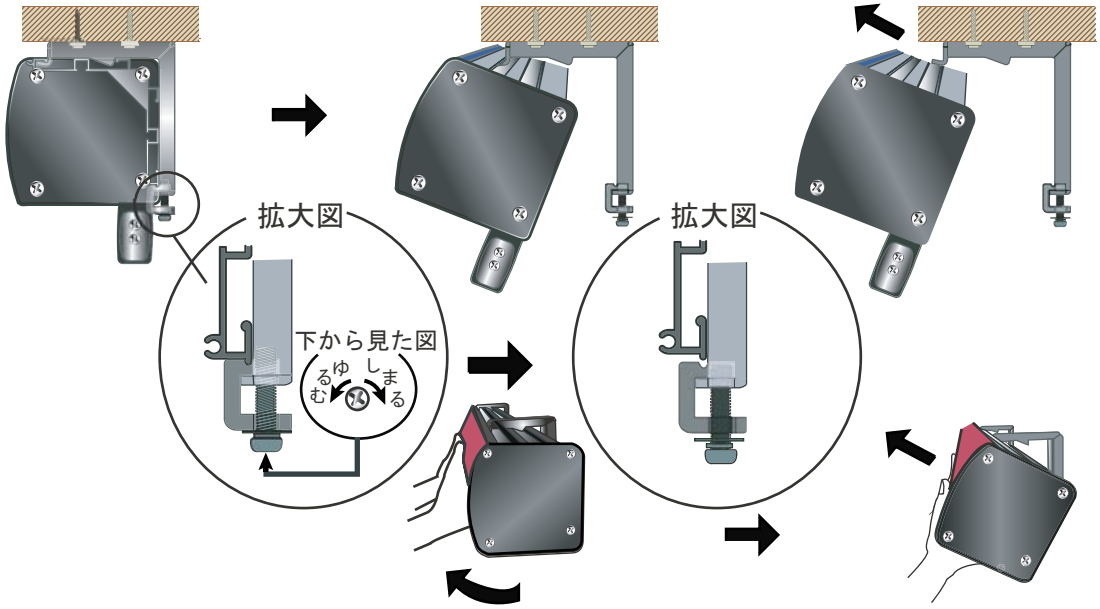
スクリーン本体をとりはずす方法

セッティングブラケット⑨の固定用ネジ(M4×20㎜)を＋ドライバーでスクリーン本体が軽く前後にガタツクまでゆるめてください。リアケース⑧の背面の下部とフロントケース③をしっかり握り、手前に引いてブラケットストッパーからリアケース⑧の下面の突起をはずします。しっかりと待ったまま斜め上にスクリーン本体を引き上げてリアケース⑧の天井面の前部の溝部をセッティングブラケット⑨の先端から抜きます。

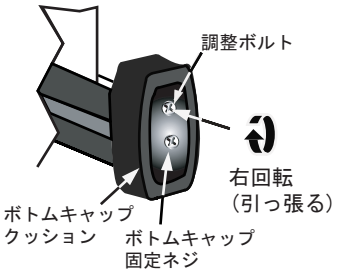


注意	・ セッティングブラケットにスクリーン本体を取りはずす時には、必ず２で行ってください。１人で作業を行うとスクリーン本体の落下や作業者の転倒や転落などの恐れがあります。 ・ ブラケットストッパーからリアケース下面の突起がはずれた時に、スクリーン本体から手をはなさないでください。スクリーン本体の落下によって人的障害や物的障害の発生の恐れがあります。

スクリーンのテンションを調整する方法

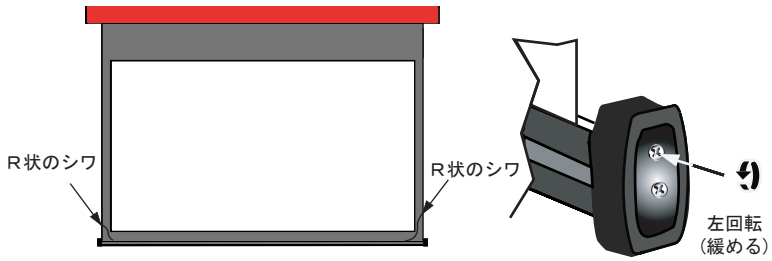
スクリーン下面は、工場での出荷検査の時に平面調整(左右の調整ボルト共に約３回転)を完了しておりますが、お使いになっているうちにシワが発生した場合は以下の手順で調整してください。

１．調整ボルトを＋ドライバーで右回転させて、スクリーンの下面にテンションをかけます。ボルトを１回転させると約0.5㎜外側へスクリーンが引っ張られます。スクリーン下面のシワの状態を見ながら行ってください。この場合、最大で０．５回転から１回転の間で調整を終らせてください。これ以上回転させた場合２項のような症状になりますので、十分にスクリーンの状態を見ながら行ってください。



禁止	調整ボルトを回転させる時は必ず左右同じ回数で行ってください。片側だけ回転させますと、かえってシワを発生させてしまい、外観を損ねたりする恐れがあります。
	調整ボルトの最大回転数は、出荷調整済の３回転を含めて左右共に４回転が限度です。

２．テンションをかけすぎた場合、スクリーン下面の端にＲ状のシワが発生する場合があります。
この場合は、左回転させてＲ状のシワの状態を見ながらテンションを緩めてください。



注意	・ テンションを掛けすぎた時は、調整ボルトを左回転させて一旦テンションを緩め２～３日放置してください。再度スクリーンの状態を見ながらテンションの調整をしてください。 ・ シワの性質によっては、完全に取り切れない場合もありますのでご了承ください。

スクリーンの停止位置を変える場合

スクリーンの上部マスク巾(有効画面上部よりケース下面間)は約250mmに設定されていますが(工場出荷時)、スクリーンケースに内蔵されているリミッター調整用ボリューム(下図参照)によりご希望の位置に変更する事ができます。(ハイビジョンタイプの80HDおよび120HDは最大500mmまで、100HDは最大400mmまで。NTSCタイプは全機種最大500mmまで。)

調整用ボリュームNO.２は、通常の設置時には調整しないでください。下部パイプがケースに食い込んでしまいます。

調整用ボリュームNO.２は、工場出荷時に調整済みですので、このボリュームには触らないでください。

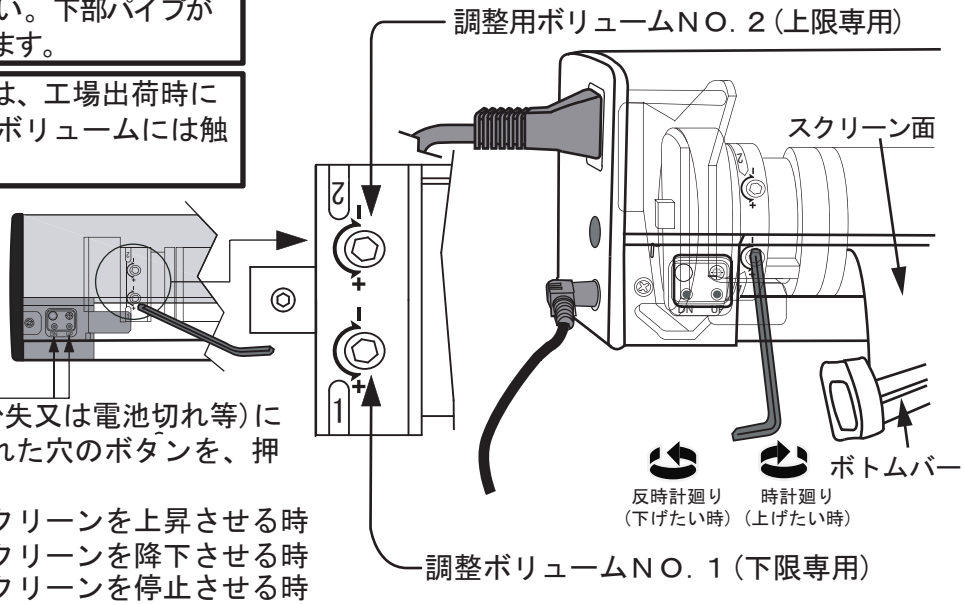
調整用ボリューム表示	
反時計廻り	＋表示側
時計廻り	－表示側

※マニュアルボタン

スイッチが使えない時(紛失又は電池切れ等)に「UP」・「DN」と書かれた穴のボタンを、押してください。

ＵＰ押し：スクリーンを上昇させる時
ＤＮ押し：スクリーンを降下させる時
ＵＰ・ＤＮ同時押し：スクリーンを停止させる時

左底面部(下から見た図)



スクリーン位置を下げたい場合

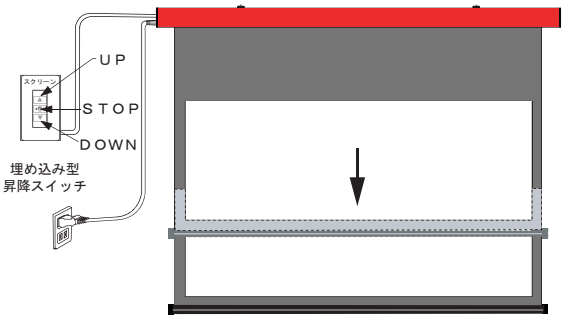
1. スイッチのボタンをＤＯＷＮに入れ、スクリーンが止まるまで待ちます。
2. スイッチのボタンはＤＯＷＮに入れたままにします。
3. 調整用ボリュームNO.１を反時計廻り(＋表示)へ付属の六角レンチ又は、小さいドライバー等で回します。(ボリュームを１回転するとスクリーンは約25mmピッチで下がります。)
4. ご希望の位置になるまで続けてください。

スクリーン位置を上げたい場合

1. 調整用ボリュームNO.1を時計廻り(－表示に２～３回、回します。(１回転で約25mm上がります。)
2. スイッチのボタンをＵＰにし、スクリーンを30～40cm上げます。
3. スイッチのボタンをＤＯＷＮにし、スクリーンを下げ停止するまで待ちます。
4. ご希望の位置になるまで続けてください。

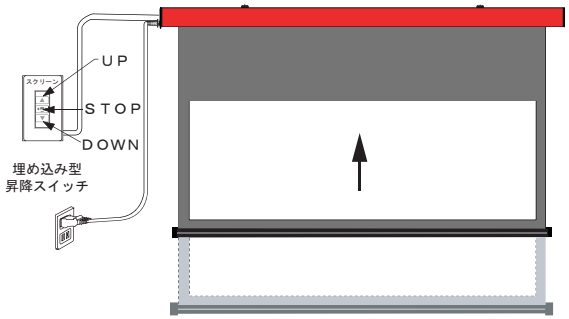
スクリーン位置が下がり過ぎた場合

「スクリーン位置を上げたい場合」を参照ください。



スクリーン位置が上がり過ぎた場合

「スクリーン位置を下げたい場合」を参照ください。



調整用ボリュームNO.２はＵＰリミッター調整用ですが、工場出荷時に調整済みです。みだりに調整用ボリュームを回しますと、下部パイプがケースの中に食い込んでしまい故障の原因となります。

２分以上連続操作すると、モーター内部のサーマルスイッチが動きモーターは停止します。しばらく放置すると(１５～２０分)、サーマルスイッチが解除になります。(故障ではありません。)

トラブル時の対処

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。それでも修復できない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

① 本体コントロール部についての項目

症状	原因	対処
動作表示ランプが赤色（スタンバイ表示）に点灯してない。	本体コントロール部の電源コードが抜けている。	電源コードを正しく確実に差し込んでください。（９ページ）
動作表示ランプが変わらない。	壁取り付けスイッチのコネクターやケーブルが正しく接続されていない。	確実に正しく接続する。（９ページ）
	異常な電圧（静電気や雷）によって本体コントロール部が破損した。	ただちにお買い上げ店にお問い合わせください。

② 壁取り付け用スイッチについての項目

症状	原因	対処
壁取り付け用スイッチが機能しない。	本体コントロール部の電源コードが抜けている。	電源コードを正しく確実に差し込んでください。（９ページ）
	４ピンプラグ付ケーブルのジャックがコネクターに接続されていない。	本体コントロール部のコネクターへ確実に差し込んでください。（９ページ）
	壁取り付けスイッチと４ピンプラグ付ケーブルが正しく接続されていない。	線色を合わせて確実に結線されているか確認してください。（９ページ）

③ スクリーンの動作についての項目

症状	原因	対処
スクリーンがまったく動作しない。	本体コントロール部の電源コードが接続されていない。	①項の決められた手順に従ってコードを接続してください。
	壁取り付けスイッチに問題がある。	②項の対処方法に従ってください。
	異常な電圧（静電気や雷）によって本体コントロール部が破損した。	ただちにお買い上げ店にお問い合わせください。
スクリーンが所定の位置で止まらない。	異常な電圧（静電気や雷）によって本体コントロール部が破損した。	同上